

# MITSUBISHI

三菱 **深夜電力用** 電気温水器  
ダイヤホット

形名

[SRG-3764-BL, SRG-4664-BL]

深夜電力（8時間）用  
通電制御型

1.通電制御型  
温水器は申請によって割引料金が適用されます。買換えなどで機種変更した場合でも電力会社へ申請してください。ご不明の点は電力会社にお問い合わせください。  
この温水器は第二深夜電力（5時間）では使えません。

## 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付工事が必要です。工事の前にこの「据付工事説明書」を必ずお読みください。

### 安全のために必ずお守りください

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

本文中に使われる図記号の意味は次の通りです。

<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。

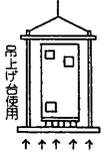
<b>警告</b>		<b>注意</b>	
	必ずアース工事をする 工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。		凍結防止対策を行う 凍結すると、配管が破裂してやけどをすることがあります。
	ガス類や引火物の近くには据付けない 発火・火災になることがあります。		床面の防水・排水処理工事をする 処理しないと、水漏れが起きたとき大きな被害につながる可能性があります。
	漏電遮断器の動作を確認する 故障のまま使用すると、感電することがあります。		脚をアンカーボルトで固定する 固定しないと、地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。
			2階以上に据付ける場合は 上部振れ止め金具で本体を固定する 固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

## 1. 据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- 工事後は、取扱説明書・保証書とともに、お使いになるお客様にお渡しください。

### 【お願い】

- この据付工事説明書に記載されていない方法で工事され、事故や故障が生じた場合は責任を負いかねます。
- 上水道直結の配管工事については必ず、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水质基準に適合した水をご使用ください。
- 電気工事は電気設備に関する技術基準及び内線規程に基づき、必ず指定工事業者が行ってください。
- 屋外で開梱した場合、強風によって製品が転倒する場合がありますので風が当たらない安定した場所に仮置きするようにしてください。
- 運搬するときは前面カバーを上にして温水器後面上部の取っ手、および底面の脚を使用してください。前面カバーを下にすると突起物にあたって変形するおそれがあります。
- 工事をされる時、温水器の上には上がらないでください。変形するおそれがあります。
- 高層住宅などへのつり上げ運搬はつり上げ台を使用してください。後面上部の取っ手の使用はつり上げ強度に耐えないため危険ですのでやめてください。



高層建物でエレベーターなど使用できないとき

## 2. 同梱付属品

次の部品が付属されています。

脚固定金具



(GZ-6B)

2個

(木枠の下部に付いています)

## 3. 純正別売部品

○据付工事には、品質と耐久性を考え、三菱純正別売部品をお使いください。

### 必要な部品

NO	部品名	個数	形名
1	絶縁パイプ（1m）	1	GT-60B
2	絶縁パイプ（0.5m）	1	GT-61B
3	アース棒	1	GT-30B

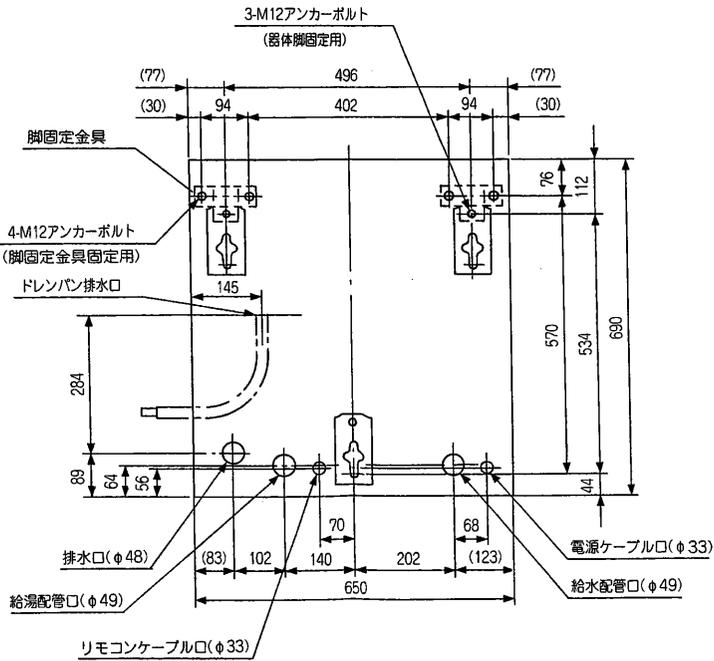
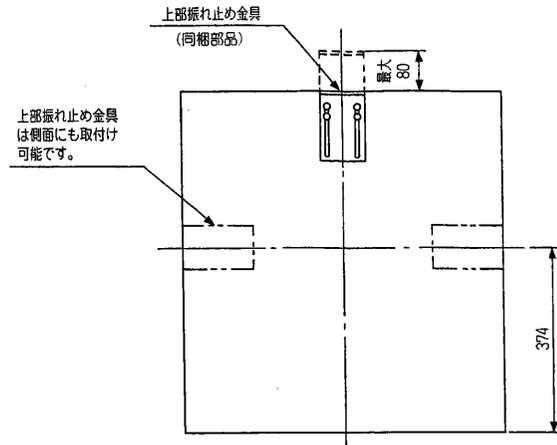
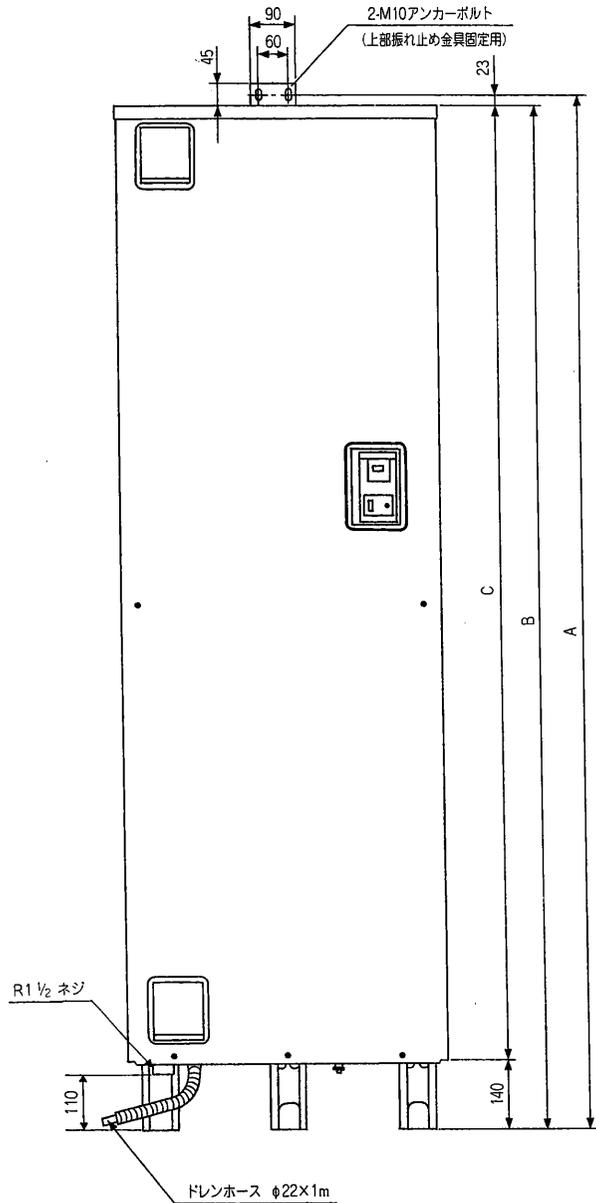
### 条件により準備する部品

NO	部品名	個数	形名
1	リモコン	1	RMC-4
2 (選択)	リモコンケーブル（3m）	1	LM-503B
	リモコンケーブル（5m）		LM-505B
	リモコンケーブル（7m）		LM-507B
	リモコンケーブル（10m）		LM-510B
	リモコンケーブル（15m）		LM-515B
3	脚部カバー	1	GT-B460
4	給湯加圧ポンプ	1	GT-81B
5	空気抜き弁	1	GT-20B

### 仕様確認のうえ現地調達可能部品

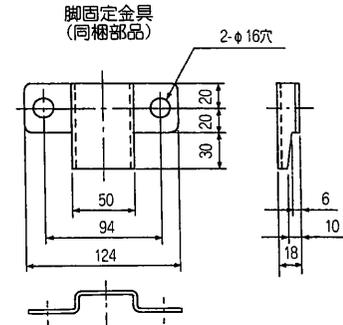
NO	部品名	個数	形名
1	アンカーボルトM12(30本入)	—	GZ-B1
2	アンカーボルトM10(50本入)	—	GZ-B2

# 4.外形寸法図

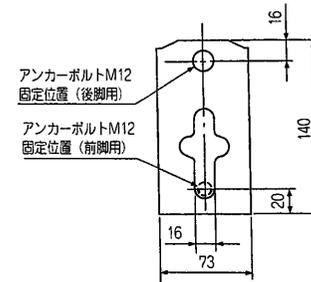


ケース下部：上面透視図

形名	SRG-3764-BL	SRG-4664-BL
タンク容量 (L)	370	460
発熱体容量 (kW)	4.4	5.4
質量 (kg)	本体	64
	満水時	434
寸法 (mm)	A	1773
	B	1750
	C	1610



器体脚詳細図

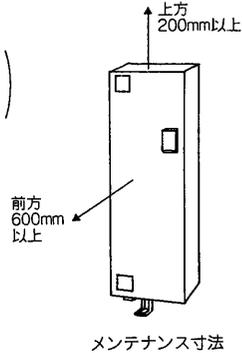


# 5. 据付工事

## 据付場所

- 温水器と建物とのすきま寸法は各都市の火災予防条例に従って据付けてください。
- 雨や、雪が降ったとき、水たまりができて、水につかるようなところには、絶対に据付けないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
- 浴室など湿気の多いところには据付けないでください。
- 室内に据付ける場合は通気口を設け密閉室にしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように考慮してください。

この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」(平成6年11月18日社団法人日本電機工業会)適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも0mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。



## 警告

ガス類や引火物の近くには据付けない  
発火・火災になることがあります。

## 床面工事

- 温水器の質量(460Lで満水時約534kg、370Lで満水時約434kg)に十分耐える基礎工事をしてください。

### 注意

#### 脚をアンカーボルトで固定する

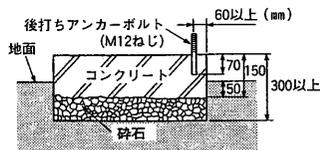
固定しないと、地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

### 注意

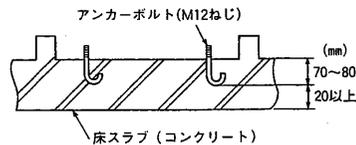
#### 床面の防水・排水処理工事をする

処理しないと水漏れが起きたとき大きな被害につながる可能性があります。

### 基礎工事 [屋外の場合]



### [屋内(集合住宅)の場合]

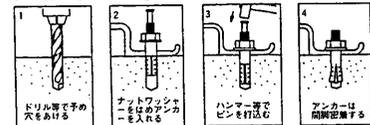


- 【お願い】
- ・コンクリートの圧縮強度は $1764 \times 10^4 \text{Pa}$  (180kgf/cm<sup>2</sup>)以上にしてください。
  - ・アンカーボルトは引き抜き力が9800N (1000kgf)以上になる施工をしてください。
  - ・賃貸時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
  - ・後打ちアンカーボルトの場合は下記のものをご使用ください。

品名: 雄ねじ形メカニカルアンカーボルト  
アンカーボルト寸法 (mm)

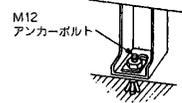
直径	全長	ネジの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

### アンカーボルトの施工例



## 脚固定方法

- 脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。



アンカーボルト固定後

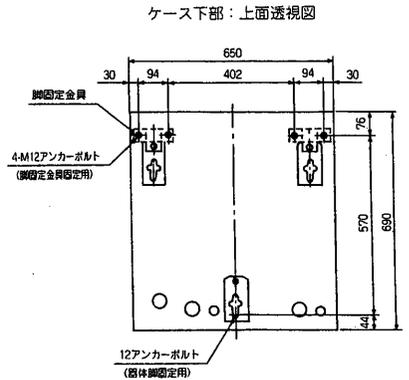
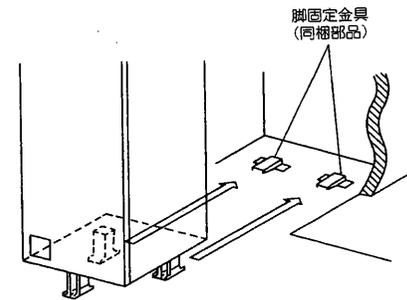
## 注意

### 脚をアンカーボルトで固定する

固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

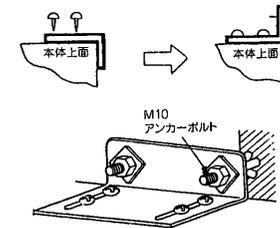
## 後脚がアンカーボルトで固定できない場合

- ①付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで下図の位置に固定します。
- ②本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
- ③前脚をアンカーボルトで固定します。



## 上部振れ止め工事

- ①本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。(金具は側面にも取付け可能です。)
- ②上部振れ止め金具を壁に固定します。



## 注意

- 2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で本体を固定する  
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

品名: 雄ねじ形メカニカルアンカーボルト

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

- 【お願い】
- ・引張荷重が4900N (500kgf)以上になる壁、または棧を設けてください。
  - ・アンカーボルトは引き抜き力が2450N (250kgf)以上になる施工をしてください。
  - ・後打ちアンカーボルトの場合は右表のものをご使用ください。
  - ・上部振れ止め金具を側面に取付ける場合、使わないネジ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。(シールは上部振れ止め金具に付いています。)

# 6. 電気工事

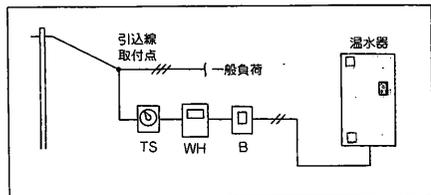
電気設備に関する技術基準および内線規程に基づき指定工事業者による施工が必要です。

- 通電確認(試運転)は必ずタンクを満水にしてから行ってください。空焼きとなりヒーター故障の原因となります。
- 専用タイムスイッチは深夜電力(8時間)用です。電力会社への申請は、適切に行ってください。
- ブレーカー(配線用遮断器)および電線(ケーブル)の太さは内線規程(下表参照)に定められたものを使用してください。

**お知らせ** ケーブルの太さは、将来容量の大きい温水器(370Lから460L)に買替えても可能なように1ランク上のサイズにしておくことをおすすめします。

## 引込配線

引込口から温水器までの回路は下図のとおりです。

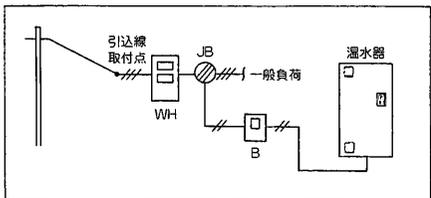


- WH 電力量計(深夜電力用)
- TS 専用タイムスイッチ
- B プレーカー
- 単相3線
- 単相2線

ブレーカーの定格とケーブルの太さ

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRG-3764-BL	単相200V(深夜電力)	4.4KW	30A	φ2.6mm	VV
SRG-4664-BL	単相200V(深夜電力)	5.4KW	40A	8mm <sup>2</sup> (φ3.2mm)	VV

**お知らせ** 別売のリモコン(RMC-4)で時間常別電灯として使用するときの回路は下図のとおりです。

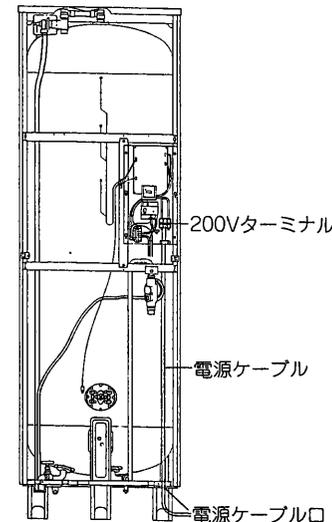
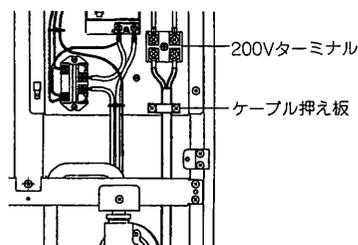
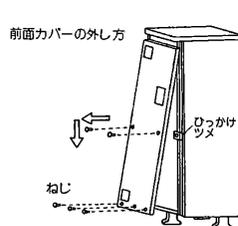


- WH 電力量計(時間常別電灯用)
- JB ジョイントボックス
- B プレーカー
- 単相3線
- 単相2線

**【お願い】** 引込線取付点とジョイントボックス(JB)間の電線(ケーブル)の太さは一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

## 電源200V配線

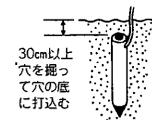
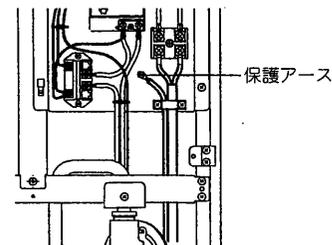
- ①前面カバーの5本のネジを外した後、前面カバーを手前に引いて下ろしてください。
- ②本体下部の電源ケーブル口から200V電源ケーブルを通し、200Vターミナルへ導きます。
- ③200Vターミナルに付いている圧着端子を指定のカシメ工具で200V電源ケーブルにカシメます。
- ④200Vターミナルに200V電源ケーブルの端子を接続します。(締付トルク3.2N・m(33kgf・cm)以上、線間絶縁距離6mm以上)
- ⑤ケーブル押え板で200V電源ケーブルを固定します。
- ⑥前面カバーを本体に取付けます。



- 【お願い】**
- ・200V電源ケーブルは必要以上にたるませないでください。
  - ・200Vターミナルへの接続は必ず付属の端子を使用してカシメ、確実に固定してください。

## 保護アース(接地)工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事(接地抵抗値100Ω以下)を行ってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。
- ①別売部品のアース棒(GT-30B)と市販のアース線(IV電線3.5mm<sup>2</sup>緑色)を半田付または中継端子で接続します。
- ②アース線を電源ケーブル口から通し、200Vターミナルの左下の保護アースに接続します。
- ③アース棒は湿気のあるところで地中30cm以上の深さに打ち込んでください。(集合住宅の場合はアース配線に接続してください。)



## 警告

**必ずアース工事をする**

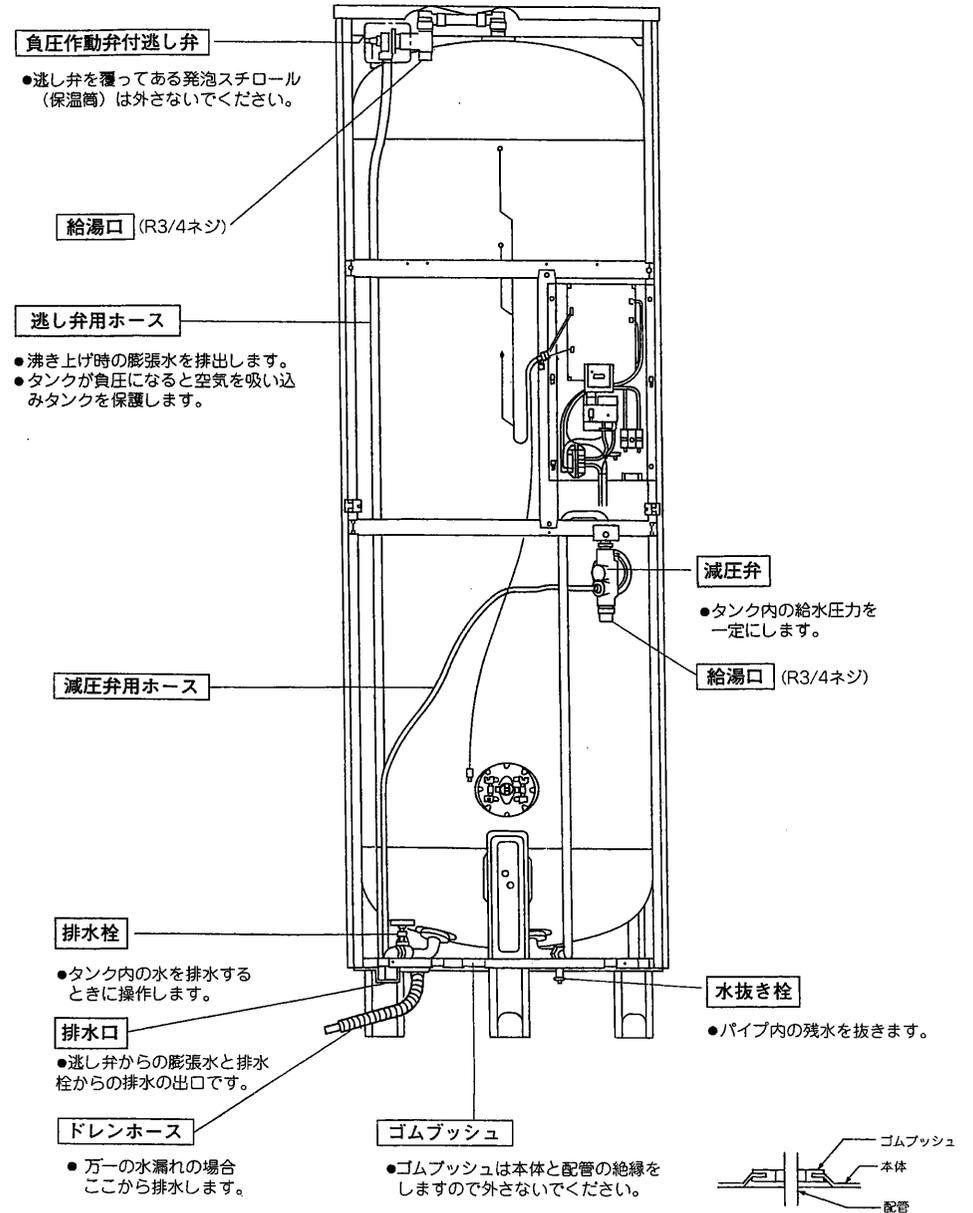
工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

## 7. 配管工事

- 上水道に直結して使用する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業者が指定された配管材料を使用して工事してください。
- 絶縁パイプは耐久性を考え三菱純正別売部品をお使いください。
- 温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けてください。
- 水栓は湯水混合栓を使用することをおすすめします。特に浴室ではサーモスタット付混合栓等の使用をおすすめします。
- 逃し弁、減圧弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合は、三菱純正部品（別売）をご使用ください。
- ドレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万一の水漏れ被害を防ぎます。
- 水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用します。
  - 塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれたり、酸性水質の地域での使用はさけてください。
  - 井戸水などで使用する場合は、水質検査を受けてください。

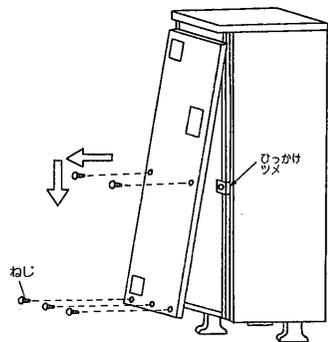
- 【お願い】**
- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器天板へ飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
  - 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管します。
  - 鳥居配管をしますと、配管途中にエア溜まりを生じますので避けてください。
  - 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
  - 減圧弁の二次側からの給水配管は、お湯の逆流等の問題がありますのでおやめください。
  - 配管接合部のシール材は耐熱、耐食性のある材料を使用してください。

## 本体内部構造図(配管組込み前)

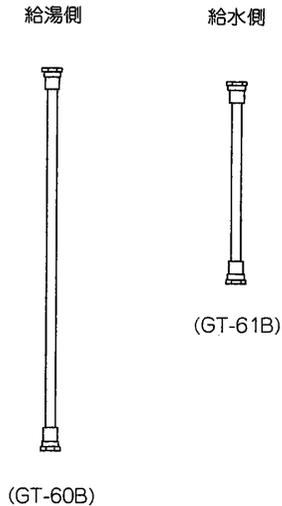


## 前面カバーの外し方

- 前面カバーの5本のネジを外した後、前面カバーを手前に引いて下ろします。配管工事が終わったら確実にネジをしめてください。

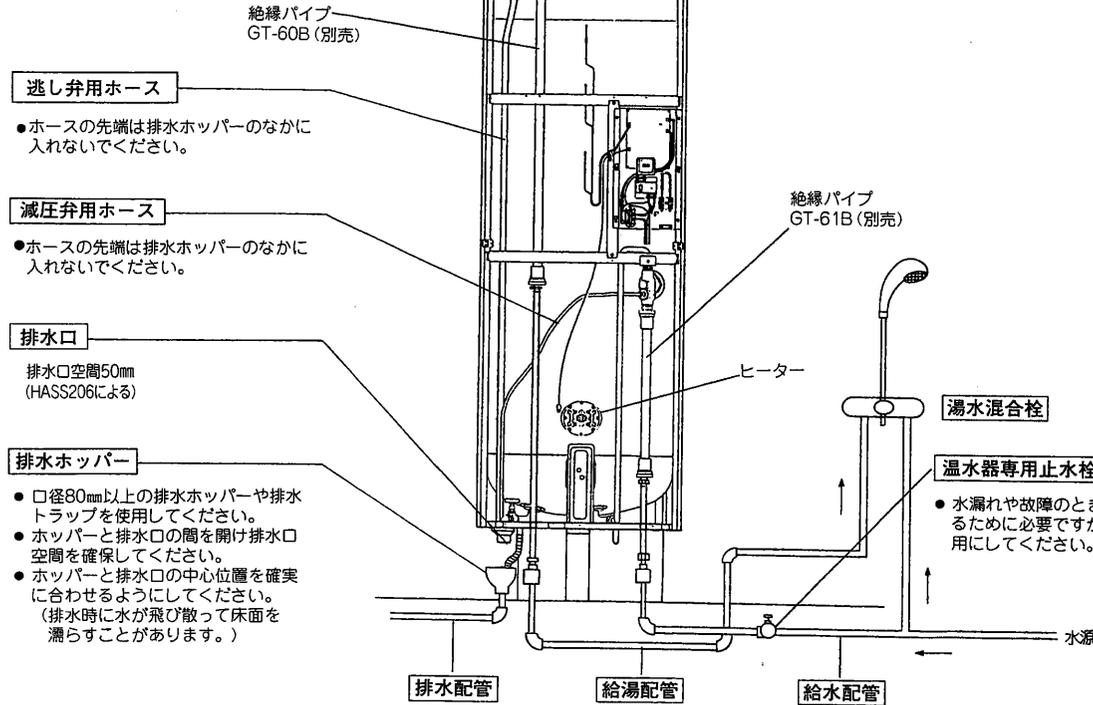


## 別売部品(絶縁パイプ)



## 配管

- 絶縁パイプは三菱純正別売部品をお使いください。
- 給湯配管は、耐熱、耐食性など、耐久性の点から銅管やステンレス管などを使用してください。
- 給湯配管はヒーターに近づけないように垂直に接続してください。
- 給水配管は合成樹脂内面処理鋼管、又は銅管を使用してください。
- 給水配管には、タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を必ず取付けてください。
- 排水管は、排水時に高温の湯が排水される場合がありますので、耐熱性のある材料を使用してください。  
(内径50mm以上、配管勾配1/200以上)
- 排水配管は、ケース底面に排水口の穴(φ48mm)が空いていますので口径80mm以上の排水ホッパーを使用し、排水口から排水がこぼれ出ないようにしてください。



### 逃し弁用ホース

●ホースの先端は排水ホッパーのなかに入れないでください。

### 減圧弁用ホース

●ホースの先端は排水ホッパーのなかに入れないでください。

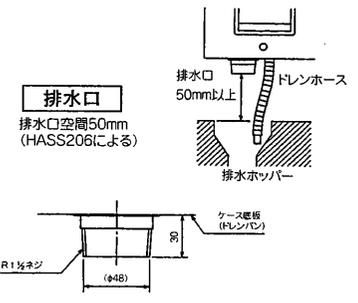
### 排水口

排水口空間50mm  
(HASS206による)

### 排水ホッパー

- 口径80mm以上の排水ホッパーや排水トラップを使用してください。
- ホッパーと排水口の間に開け排水口空間を確保してください。
- ホッパーと排水口の中心位置を確実に合わせるようにしてください。  
(排水時に水が飛び散って床面を濡らすことがあります。)

### 排水口付近拡大図



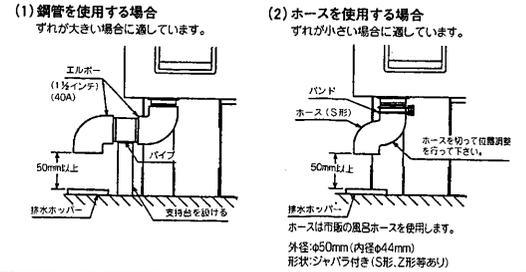
### ドレンホース

ドレンホースは温水器底面より上にならないようにして排水ホッパーへ導いてください。また、ドレンホースが排水ホッパーから外れそうときは針金などで固定してください。

### 排水ホッパー

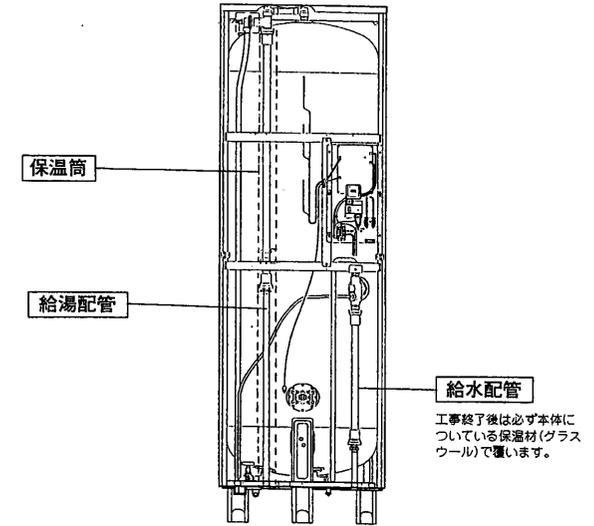
- 口径80mm以上の排水ホッパーや排水トラップを使用します。(ケース底面の排水口の穴はφ48mmです。)
- ホッパーと排水口の中心位置を確実に合わせます。(中心位置がずれていると、排水時に水が飛び散って床面を濡らすことがあります。)

### 排水口と排水ホッパーの位置がずれている場合



## 保温

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
- 湯温の低下と凍結防止のためすべての配管には必ず保温材を巻いてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。



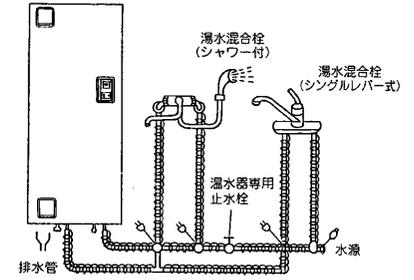
## 凍結防止工事

保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると、配管が凍結する恐れがありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

- 【お願い】
- 凍結防止対策とその操作方法をお客様に十分に説明してください。
  - 配管に水が無い状態では、絶対に凍結防止ヒーターに通電しないでください。

### 凍結防止ヒーターによる方法

- ①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。(本体内部の配管については保温材による凍結防止を行ってください。)
- ②凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。



## 8. 据付工事後の確認

据付工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度確認してください。  
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)

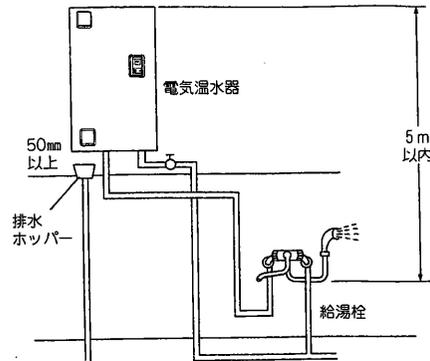
チェック項目	チェックポイント		判定											
1 据付け状態	①脚がアンカーボルトで固定されていますか (3カ所)	⑤温水器本体の出し入れが出来ますか												
	②温水器の満水時の質量に十分耐えますか	⑥排水・防水処理はしてありますか												
	③点検・修理がしやすいですか	⑦上部は固定しましたか。(2階以上に据付けた場合)												
	④火気・引火物に近くありませんか	⑧ケースに変形はありませんか												
2 配管工事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか	⑦給水配管に絶縁を考慮した配管材 (L=500mm以上) が入っていますか												
	②排水ホッパーはついていますが	⑧埋込部に塩ビ管を使用していないですか												
	③排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか	⑨絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか												
	④排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか	⑩排水配管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか												
	⑤給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか(銅管、ステンレス管などであれば可)	⑪ドレンホースを排水ホッパーに導いてありますか												
	⑥給湯配管に絶縁を考慮した配管材 (L=1000mm以上) が入っていますか	⑫保温工事は適切ですか												
3 電気工事	①電線の太さは十分ですか	⑦電源ケーブル押えは使っていますか  参考 電線の太さ、ブレーカーなどの定格 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>温水器</th> <th>電線の太さ</th> <th>ブレーカーの定格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">8時間</td> <td>370L/4.4KW</td> <td>φ2.6mm</td> <td>30A</td> </tr> <tr> <td>460L/5.4KW</td> <td>8mmφ (φ3.2mm)</td> <td>40A</td> </tr> </tbody> </table>		温水器	電線の太さ	ブレーカーの定格	8時間	370L/4.4KW	φ2.6mm	30A	460L/5.4KW	8mmφ (φ3.2mm)	40A	
			温水器	電線の太さ	ブレーカーの定格									
	8時間		370L/4.4KW	φ2.6mm	30A									
			460L/5.4KW	8mmφ (φ3.2mm)	40A									
	②専用タイムスイッチ、ブレーカーはついていますが													
	③専用タイムスイッチ、ブレーカーの定格は十分ですか													
④線間電圧は単相200Vですか														
⑤200Vターミナルの締付けは十分ですか														
⑥接地は確実ですか (第三種接地)														
4 凍結防止工事	①適切な工事がされていますか													
5 水漏れ確認	温水器に次の手順で給水します													
	(1)台所または洗面所の湯水混合栓を開きます													
	(2)温水器専用止水栓を開きます													
	①湯水混合栓からの流量は十分ですか													
②配管各部からの水漏れはないですか														
③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき排水はあふれ出ることはないですか														

通電テストを実施する場合  
ヒーターの空焼きを防止す  
るためタンクが満水になっ  
ていることを必ず確認して  
ください。

## 特殊配管工事

### 〔階下へ給湯する場合〕

- 給湯栓と温水器の高低差は、5m以内にしてください。（5m以上にすると負圧作動弁から空気を吸込み、空気の混ざったお湯が出る場合があります。）
- 排水工事は、必ず排水ホッパーを使用して階下へ配管してください。排水ホッパーを使用しないと、タンク排水時にタンク内が負圧となりタンクを損傷するおそれがあります。



### 〔給湯加圧ポンプ(GT-81B)を使用する場合〕 設置・配管方法

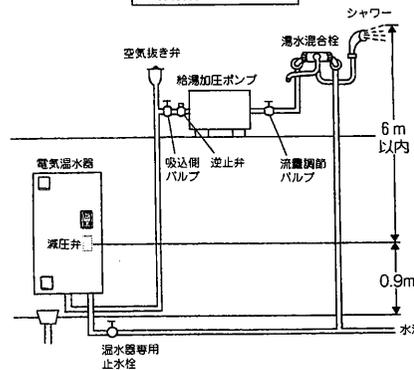
給湯加圧ポンプは当社純正別売部品（GT-81B）を使用してください。市販のポンプを使用する場合は、定格出力50W以下、フロースイッチ式のものを使用してください。（接続および使用方法については、使用するポンプの説明書をお読みください。）

### 据付工事方法

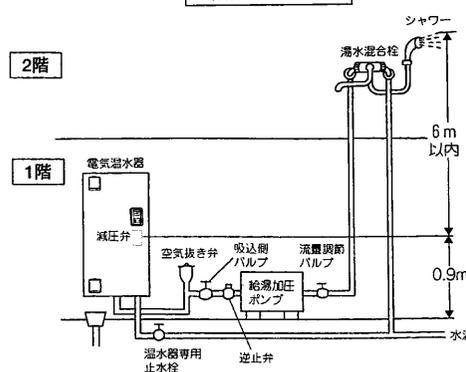
（詳しくは、給湯加圧ポンプGT-81Bの据付工事説明書をご覧ください）

- ポンプの吸込管側には必ず空気抜き弁を取付けてください。空気が入るとお湯が出なくなります。
- ポンプの吐出・吸込側配管にはバルブ（吸込側バルブ、流量調節バルブ）、逆止弁を設けてください。（修理・点検の際に必要です。）
- 減圧弁と最も高い給湯栓（シャワー等）までの高さは6m以内にしてください。6mをこえるとポンプを運転させるのに必要な流量が確保できなくなるのでお湯が出ない場合があります。
- ポンプの据付面から階下へは絶対に給湯しないでください。温水器やポンプに負圧が発生し破損、故障の原因となります。
- 水源の給水圧力は100kPa（1kgf/cm<sup>2</sup>）以上確保してください。

2階据付けの場合



1階据付けの場合



## 9. 試運転

試運転はお客様立ち会いで行ってください。

### ⚠注意

通電はタンクを満水（湯水混合栓を「高」側にしてお湯が出る状態）にしてから行ってください。満水にならないうちに通電するとヒーターが過熱して故障の原因になります。

【お願い】電力会社の了解を得て専用タイムスイッチを通電状態にしてから行ってください。

(1)深夜電力電源200Vを通電します。

- ①ブレーカーおよび温水器の漏電遮断器の電源レバーを上げて「入」にします。
- ②漏電遮断器のテストボタンを押します。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
- ③電源レバーを「入」にもどします。ヒーターへの通電を沸き上げランプの点灯と深夜電力の電力量計の回転で確認します。
- ④専用タイムスイッチの時間をセットします。

## 10. お客様への説明

○別冊の取扱説明書に基づいて、正しい使い方をご説明ください。

とくに「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

○日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。

○寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。

○長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客様にご説明のうえ点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。

○保証書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書と共にお客様にお渡しください。

○同梱してあるダイヤホットサービスラベルに所定事項をご記入のうえ温水器の見やすい所に貼ってください。